

生産現場に密着した活動の一層の促進について



全国堆肥センター協議会会長
(財団法人 畜産環境整備機構 理事長)
今藤 洋海

平成17年8月1日付けで本田前会長の後任として、全国堆肥センター協議会会長に就任しております。

全国堆肥センター協議会は、平成13年3月に発足し、堆肥センターの抱える様々な課題を解決するため活動を続けてまいりました。

この間に堆肥処理施設、汚水処理施設等が関係者あがての取組みによりほぼ目標とする水準まで整備が進んだところです。今後は、整備された施設の円滑な運営と生産された堆肥等の利活用の促進が課題となっております。

特に、堆肥センターは、地域における家畜排せつ物の管理とその利用の両面で重要な施設となっており、耕畜連携や資源循環型農業を推進する上で地域の中核的機能を担っております。

平成17年度からは、「資源循環型畜産モデル等確立普及対策事業」の実施を通じて全国堆肥センター協議会及び都道府県堆肥センター協議会の活動に取り組むこととしております。

これは堆肥センター協議会の活動がより生産現場に近いところで農家をはじめ関係者、関係機関の連携した取組みを強化しようとするものです。

全国堆肥センター協議会としましても、今後とも堆肥センターの運営強化と良質堆肥の生産と生産された堆肥の利活用の一層の促進について、積極的な取組みの推進に寄与して参りたいと考えております。